



第269号

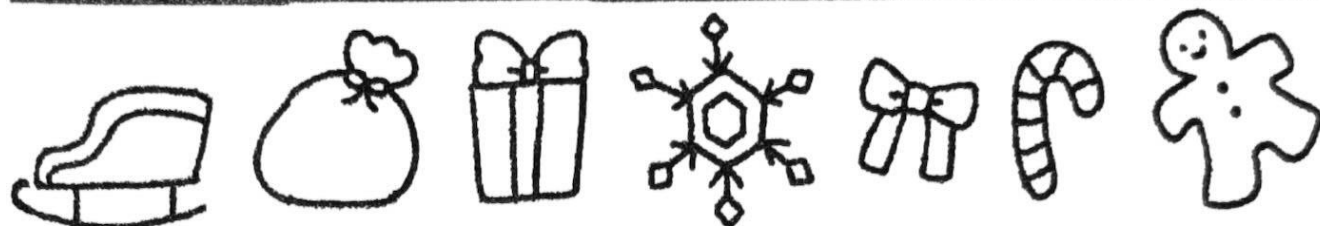
2025年12月号

日本基督教団 梅ヶ丘教会会報

# ぶどうの木

発行人 牧師 広田叔弘  
企画編集 広報委員会  
www.church.ne.jp/umegaoka/  
2025年11月23日発行

〒155-0033  
東京都世田谷区代田 3-37-7  
TEL : 03-3414-5772  
FAX : 03-3414-5778



## 『アドベント・到来』

牧師 広田叔弘

呼びかける声がある。

主のために、荒れ野に道を備え

わたしたちの神のために、

荒れ地に広い道を通せ。

谷はすべて身を起こし、

山と丘は身を低くせよ。

険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。

主の栄光がこうして現れるのを

肉なる者は共に見る。

イザヤ書 40章 1～3節

クリスマスに先立つ4回の主の日の日をアドベントと呼びます。「主の到来」を表す言葉です。アドベントには二つの意味があります。一つは世に來たキリスト(降誕)を示すものです。もう一つは、やがて來るキリスト(再臨)を示すものです。「既に來た主を覚え、再び來る主を待ち望む」これがアドベントです。

冒頭に掲げた言葉は、バビロン捕囚の末期に告げられたものです。捕囚の歳月は50年を数えようとしています。民は疲弊してしました。捕囚の民として生まれ、捕囚の民として死んでいく。都エルサレムの土を踏んだことのない人々が大多数となる時代でした。

そしてイザヤが現れます。彼は民に告げま

した。「道を備えよ！」迎えに來るのです。

囚われの民を連れ歸るために神が迎えに來る。

だから道を造れ。造るように命じられた道は

平らな道です。人々の心は荒れていました。

「救いはない・・・」谷のように深い絶望を

抱える人がいた。バビロンの地に同化する

人々もいたでしょう。「神などいなくてもや

って行ける」高ぶる人たちもいた。イザヤは

平らな心になれと言う。信仰を取り戻して神

をお迎えする平らな道を造れと告げるのです。

アドベントのキーワードは「到来」です。

私たちが待つことから始まるではありません。

神が私たちのところへ來るのです。いい

え。既に主は來ました。そして、やがて來ら

れる。既に來たキリストを覚えて、やがて來

るキリストを待つのです。

冬の谷間をひとり歩き続ける日がありま

す。心を注いできた信仰の日々が急に虚しく

思えてしまう。希望を持つことが出来ない。

そして主は、そういう私たちのところへ來る

のです。主の再臨は彼方にあるものではありません。

今を生きるあなたに訪れることです。

光の中に帰りましょう。主は世のどん底に

やって來ました。クリスマスの温かい光の中

に招かれています。この中で私たちは、それ

ぞれの人生の現場に來てくださる主を待ちま

す。賛美を歌いつつ、共に主を待つのです。